

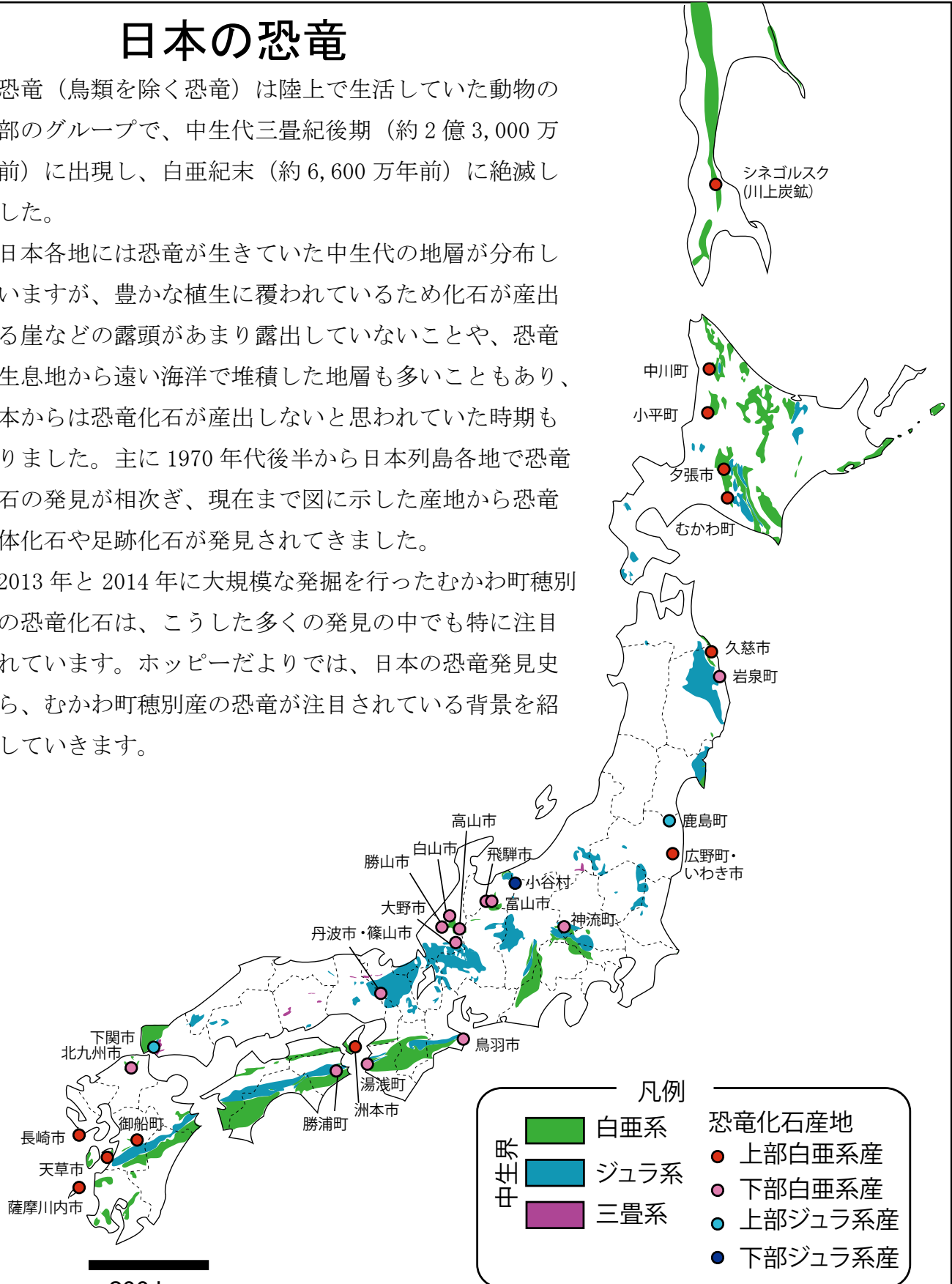


日本の恐竜

恐竜（鳥類を除く恐竜）は陸上で生活していた動物の一部のグループで、中生代三畳紀後期（約2億3,000万年前）に出現し、白亜紀末（約6,600万年前）に絶滅しました。

日本各地には恐竜が生きていた中生代の地層が分布していますが、豊かな植生に覆われているため化石が産出する崖などの露頭があまり露出していないことや、恐竜の生息地から遠い海洋で堆積した地層も多いこともあり、日本からは恐竜化石が産出しないと思われていた時期もありました。主に1970年代後半から日本列島各地で恐竜化石の発見が相次ぎ、現在まで図に示した産地から恐竜の体化石や足跡化石が発見されてきました。

2013年と2014年に大規模な発掘を行ったむかわ町穂別産の恐竜化石は、こうした多くの発見の中でも特に注目されています。ホッピーだよりでは、日本の恐竜発見史から、むかわ町穂別産の恐竜が注目されている背景を紹介していきます。



白亜紀末のアンモナイト パキディスカス・グラシリス

Pachydiscus gracilis



博物館常設展示室奥にあるパキディスカス・グラシリスのコレクション



穂別産パキディスカス・グラシリスのタイプ標本 (ホロタイプ) 九州大学理学部所蔵

パキディスカス・グラシリスは、1979年にむかわ町穂別地区（当時は穂別町）キウス産ほかの標本を元に新種として記載されたアンモナイト（文献1）で、北西太平洋地域のマーストリヒチアン期前期の後期（約7,100万年前）の示準化石（地質年代を決定できる化石）です。1979年は穂別博物館が設立される以前でしたので、新種の基準とされたタイプ標本は、研究が行われた九州大学理学部に収蔵されました。新種発表時は、穂別地域からは7個体、中頓別町から2個体が報告されました。2005年には、サハリンからも数個体の産出が報告されました（文献2）。

1990年のむかわ町穂別地区キウスの道路拡張工事によって、多数のアンモナイト、イノセラムスが産出しました。道路工事終了後に、化石が多産した崖の同層準で向かいの丘を化石採集用の学習用地として穂別博物館で整備しました。1990年の道路拡張工事と、後に整備した学習用地からアンモナイト；パキディスカス・グラシリス、パキディスカス・コバヤシイ、ネオフィロセラス・ネラ、ゴードリセラス・イズミエンゼとイノセラムス科二枚貝のスフェノセラムス・ヘトナイアヌスの保存状態の良い集団標本が得られました。ここから得られた共産化石を基にパキディスカス・グラシリスがマーストリヒチアン期前期の後期の示準化石であることが明らかになりました（文献3、4）。

博物館常設展示室奥に展示しているパキディスカス・グラシリスは、1990年の工事と、後に整備した学習用地から得られたもので、この種類の質・両共に最高のコレクションです。収蔵庫にあるものを含めると30個体以上のコレクションが穂別博物館に収蔵されています。

文献1 Matsumoto, T., Kanie, Y. and Yoshida, S., 1979: Notes on *Pachydiscus* from Hokkaido (Studies on the Cretaceous Ammonites from Hokkaido and Saghalien XXXIX). *Memoirs of the Faculty of Science, Kyushu University, Series D, Geology*, vol. 24, p. 47-73.
 文献2 Maeda, H., Shigeta, Y., Fernando, A. G. S. and Okada, H., 2005: Stratigraphy and fossil assemblages of the Upper Cretaceous System in the Makarov area, southern Sakhalin, Russian Far East. *National Science Museum Monographs*, vol. 31, p. 25-120.
 文献3 Matsumoto, T. and Toshimitsu, S., 1992: On a leading ammonite species *Pachydiscus kobayashii* from the Hobetsu district, Hokkaido. *Bulletin of the Hobetsu Museum*, No. 8, p. 1-16.
 文献4 Matsumoto, T., Toshimitsu, S. and Noda, M., 1993: On a Maastrichtian (Cretaceous) Inoceramid species *Sphenocerasmus hetonaianus* from the Hobetsu district, Hokkaido. *Bulletin of the Hobetsu Museum*, No. 9, p. 1-20.

学芸員 西村智弘

入館者 50 万人達成

穂別町立博物館が開館した1982年7月20日から33年が過ぎた2015年9月4日に入館者50万人を達成しました。50万人目の入館者となった上江別小学校5年生140名に、博物館と博物館協力会から記念品を差し上げました。



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

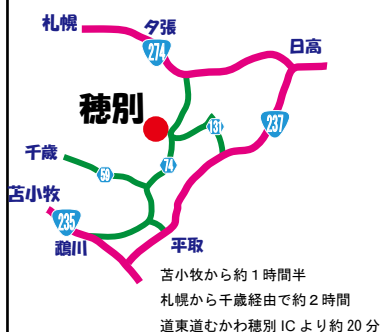
観覧料 個人/小~高校生: 100円

大人 300円

団体/小~高校生: 50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料



苫小牧から約1時間半
 札幌から千歳経由で約2時間
 道東道むかわ穂別ICより約20分

10月2015年

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月2015年

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

休館日 町民無料観覧日